

令和5年度
生駒市立病院 実施状況調査報告書
(3カ年のまとめ)
(案)

目 次

診療科目	1
病床数	3
人員体制	5
患者数	7
質の高い医療の提供	9
地域完結型の医療体制構築への寄与	15
救急医療の充実	19
小児医療の充実	23
災害時医療の確保	23
予防医療の啓発	23
市民参加による運営	25
環境に配慮した運営	25
収支	27

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告
診療科目目	14 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科	17 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 リウマチ科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 （祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く） ・診察時間 午前 9：00～12：00 夕方 17：00～19：00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8：00～12：00 夕方 16：30～19：00(土曜日除く)	17 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 リウマチ科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 （祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く） ・診察時間 午前 9：00～12：00 夕方 17：00～19：00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8：00～12：00 夕方 16：30～19：00(土曜日除く)
	上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。	・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師を確保し、専門外来の充実を図ります。 ・院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。	・既存の診療科について、常勤医師（令和 5 年 4 月に内科、整形外科、形成外科、腎臓泌尿器科、麻酔科）の確保を図りました。 さらに、院内の診療科間の連携を深め、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制（脳神経外科、心臓血管外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制）を推進しました。

令和 5 年度 事業報告の補足説明					3 ヶ年の評価・課題																																																
<診療科目> 令和 5 年 4 月より、リウマチ科を開設 <その他> <table><tr><th>内容</th><th>開始時期</th><th>診察時間</th><th>R5</th><th>R4</th></tr><tr><td>一般診療 (内科系、外科系を含 めて総合的に診察)</td><td>H27.7～</td><td>月～金 17:00～ 19:00</td><td>1,615 件</td><td>2,425 件</td></tr><tr><td>大学の腎臓泌尿器科外 科教授による特別外来</td><td>H27.9～</td><td>月 2 回 PM (予約制)</td><td>233 件</td><td>220 件</td></tr><tr><td>ペイン (痛み) 外来 (麻酔科)</td><td>H27.11～</td><td>週 1 回 AM</td><td>248 件</td><td>287 件</td></tr><tr><td>フットケア外来 (形成外科)</td><td>H28.6～</td><td>週 3 回 AM</td><td>450 件</td><td>457 件</td></tr><tr><td>乳腺・甲状腺外来 (外科)</td><td>H29.10～</td><td>週 1 回 AM</td><td>858 件</td><td>830 件</td></tr><tr><td>小児アレルギー外来 (小児科)</td><td>H30.12～</td><td>月 2 回 PM</td><td>78 件</td><td>180 件</td></tr><tr><td>アンチエイジング外来 (皮膚科)</td><td>H29.4～</td><td>週 2 回 PM</td><td>99 件</td><td rowspan="4">251 件 ※</td></tr><tr><td>まぶた外来 (形成外科)</td><td>H28.12～</td><td colspan="2" rowspan="3">R4 年度末で専門外来と しての診療は終了し、 一般外来の中で継続。</td></tr><tr><td>レーザー外来 (形成外科)</td><td>H29.8～</td></tr><tr><td>下肢静脈瘤外来 (形成外科)</td><td>H31.4～</td></tr></table> ※ アンチエイジング外来・まぶた外来・レーザー外来・下肢静脈瘤 外来については、個々の件数算出が不可能					内容	開始時期	診察時間	R5	R4	一般診療 (内科系、外科系を含 めて総合的に診察)	H27.7～	月～金 17:00～ 19:00	1,615 件	2,425 件	大学の腎臓泌尿器科外 科教授による特別外来	H27.9～	月 2 回 PM (予約制)	233 件	220 件	ペイン (痛み) 外来 (麻酔科)	H27.11～	週 1 回 AM	248 件	287 件	フットケア外来 (形成外科)	H28.6～	週 3 回 AM	450 件	457 件	乳腺・甲状腺外来 (外科)	H29.10～	週 1 回 AM	858 件	830 件	小児アレルギー外来 (小児科)	H30.12～	月 2 回 PM	78 件	180 件	アンチエイジング外来 (皮膚科)	H29.4～	週 2 回 PM	99 件	251 件 ※	まぶた外来 (形成外科)	H28.12～	R4 年度末で専門外来と しての診療は終了し、 一般外来の中で継続。		レーザー外来 (形成外科)	H29.8～	下肢静脈瘤外来 (形成外科)	H31.4～	○発熱外来 (帰国者・接触者外来) において、コロナ 疑い患者への検査・診療を精力的に行い、市内にお けるコロナ対応の中心的な役割を果たした。 ○脳神経外科常勤医師の確保により、入院患者の受 入が可能となり、検査による早期診断や脳卒中患者 への t-PA 静注療法など早期治療体制を整備してい る。 ○令和 5 年 4 月からリウマチ科の開設により、さら に病院機能が充実している。 課題 患者ニーズに合致した医療機能を提供することに より診療実績を増やす必要がある。 専門外来など病院が提供する医療機能について積 極的に情報発信する必要がある。
内容	開始時期	診察時間	R5	R4																																																	
一般診療 (内科系、外科系を含 めて総合的に診察)	H27.7～	月～金 17:00～ 19:00	1,615 件	2,425 件																																																	
大学の腎臓泌尿器科外 科教授による特別外来	H27.9～	月 2 回 PM (予約制)	233 件	220 件																																																	
ペイン (痛み) 外来 (麻酔科)	H27.11～	週 1 回 AM	248 件	287 件																																																	
フットケア外来 (形成外科)	H28.6～	週 3 回 AM	450 件	457 件																																																	
乳腺・甲状腺外来 (外科)	H29.10～	週 1 回 AM	858 件	830 件																																																	
小児アレルギー外来 (小児科)	H30.12～	月 2 回 PM	78 件	180 件																																																	
アンチエイジング外来 (皮膚科)	H29.4～	週 2 回 PM	99 件	251 件 ※																																																	
まぶた外来 (形成外科)	H28.12～	R4 年度末で専門外来と しての診療は終了し、 一般外来の中で継続。																																																			
レーザー外来 (形成外科)	H29.8～																																																				
下肢静脈瘤外来 (形成外科)	H31.4～																																																				
<table><tr><th>内容</th><th>開始時期</th><th>診察時間</th><th>R5</th><th>R4</th></tr><tr><td>発熱外来 (帰国者・接触者外来)</td><td>R2.4～</td><td>月～金 9:00～16:00 土 9:00～12:00</td><td>9,291 件</td><td>14,490 件</td></tr></table>					内容	開始時期	診察時間	R5	R4	発熱外来 (帰国者・接触者外来)	R2.4～	月～金 9:00～16:00 土 9:00～12:00	9,291 件	14,490 件																																							
内容	開始時期	診察時間	R5	R4																																																	
発熱外来 (帰国者・接触者外来)	R2.4～	月～金 9:00～16:00 土 9:00～12:00	9,291 件	14,490 件																																																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告
病 床 数	病床数 210 床 ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	(令和 6 年 3 月 31 日) 病床数 210 床 小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床 病棟編成 5 病棟、 7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU) ・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、 病床利用率の向上に向け、入院医療に対応 できる常勤医師の確保、地域医療機関との 連携強化による紹介患者の受け入れに取り 組みます。 なお、新型コロナウイルス感染症患者及 び疑似症患者の入院受け入れのための病 床については、国・県の動向や感染状況な などを踏まえ、柔軟に運用を行います。 ・小児科の救急医療や入院医療の体制を 充実させ、引き続き、奈良県と情報交換を しながら、北和小児科二次輪番体制に寄与 します。	(令和 6 年 3 月 31 日) 病床数 210 床 小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床 病棟編成 5 病棟、 7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU) ・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、 病床利用率の向上に向け、入院医療に対応 できるよう整形外科等の常勤医師を確保 しました。また、地域医療機関との連携強 化による紹介患者の受け入れに取り組み しました。 新型コロナウイルス感染症患者の入院 受け入れのための病床については、感染状 況に応じて受入体制を引き続き整備して います。 ・小児科の救急医療や入院医療の体制を 充実させ、北和小児科二次輪番体制に寄与 しています。

令和 5 年度 事業報告の補足説明	3 ヶ年の評価・課題																								
4 階西病棟 小児科・産婦人科・形成外科・一般内科の女性の一般患者を対象とした混合病棟 4 階東病棟 整形外科、腎臓泌尿器科、脳神経外科、形成外科、小児科、一般内科 5 階西病棟 感染症患者を含む混合病棟 5 階東病棟 外科、消化器内科、循環器内科、血管外科 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td>1日平均病床利用率</td><td>68.0%</td><td>56.9%</td><td>11.1%</td></tr><tr><td>1日最大稼働病床数</td><td>184床</td><td>169床</td><td>15床</td></tr><tr><td>1日最大稼働病床利用率</td><td>87.6%</td><td>80.5%</td><td>7.1%</td></tr><tr><td>月平均新入院患者数</td><td>303.5人</td><td>253.7人</td><td>49.8人</td></tr><tr><td>平均在院日数</td><td>14.4日</td><td>14.3日</td><td>0.1日</td></tr></table> ※病床利用率は、210 床に対する利用率を記載。		R5	R4	増減	1日平均病床利用率	68.0%	56.9%	11.1%	1日最大稼働病床数	184床	169床	15床	1日最大稼働病床利用率	87.6%	80.5%	7.1%	月平均新入院患者数	303.5人	253.7人	49.8人	平均在院日数	14.4日	14.3日	0.1日	○新型コロナウイルス感染症患者の受入病棟を確保（最大 28 床まで）し、積極的に入院受入体制を整備した。 ○検査体制の整備及び積極的な入院受け入れなど公立病院として市内及び北和地区におけるコロナ対応の中心的な役割を果たした。 ○脳神経外科常勤医師の確保により、脳卒中患者等の入院受入体制を整備している。 ○小児科常勤医師の増員により、令和 3 年 10 月から北和小児科二次輪番体制へ参加し、北和地区の小児科二次医療に貢献している。 課題 積極的なコロナ対応により病床利用率の向上などの効果が見られたが、コロナ収束を見据えた柔軟な病棟運用により引き続き病床利用率の向上を図る必要がある。
	R5	R4	増減																						
1日平均病床利用率	68.0%	56.9%	11.1%																						
1日最大稼働病床数	184床	169床	15床																						
1日最大稼働病床利用率	87.6%	80.5%	7.1%																						
月平均新入院患者数	303.5人	253.7人	49.8人																						
平均在院日数	14.4日	14.3日	0.1日																						

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 5 年度 事業計画		令和 5 年度 事業報告	
人 員 体 制	人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数（外来 300 名、入院 140 名と仮定）による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。	(令和 6 年 3 月 31 日)		(令和 6 年 3 月 31 日)	

令和 5 年度 事業報告の補足説明							3 ヶ年の評価・課題
		R5		R4		増減	
		常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算
医 師	内科	3	4.33	2	3.70	1	0.63
	消化器内科	0	0.63	1	1.52	△ 1	△ 0.89
	循環器内科	2	2.00	2	2.00	0	0.00
	外科	3	3.31	3	3.25	0	0.06
	脳神経外科	1	1.12	1	1.12	0	0.00
	整形外科	1	1.90	0	1.25	1	0.65
	形成外科	2	2.16	1	1.38	1	0.78
	小児科	3	3.00	3	3.00	0	0.00
	腎臓泌尿器科	2	2.31	2	2.47	0	△ 0.16
	産婦人科	4	5.61	3	3.92	1	1.69
	リハビリテーション科	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	放射線科	0	0.45	0	0.60	0	△ 0.15
	救急科	0	1.64	0	1.61	0	0.03
	麻酔科	3	3.00	2	2.00	1	1.00
	血管外科	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	リウマチ科	0	0.00	—	—	—	—
	皮膚科	1	1.00	1	1.00	0	0.00
	計	25	32.46	21	28.82	4	3.64
看 護 師	外来部門	56	62.87	47	54.81	9	8.06
	入院部門	97	103.47	97	102.88	0	0.59
	内) 准看護師	1	1.00	2	2.00	△ 1	△ 1.00
	内) 助産師	21	21.00	17	17.00	4	4.00
	内) 保健師	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	計	153	166.34	144	157.69	9	8.65
そ の 他	薬剤師	15	15.75	14	15.25	1	0.50
	理学療法士	13	13.00	11	11.00	2	2.00
	作業療法士	1	1.53	0	0.66	1	0.87
	言語聴覚士	2	2.30	2	2.00	0	0.30
	放射線技師	10	10.00	8	8.00	2	2.00
	検査技師	12	12.00	12	12.00	0	0.00
	栄養士	4	4.00	4	4.00	0	0.00
	看護助手	20	21.65	17	18.12	3	3.53
	臨床工学技士	7	7.00	7	7.00	0	0.00
	事務職員他	62	65.84	63	68.40	△ 1	△ 2.56
	計	146	153.07	138	146.43	8	6.64
	合計	324	351.87	303	332.94	21	18.93

※血管外科は循環器内科医が、リウマチ科は整形外科医が兼務。
（リウマチ科は令和 5 年 4 月 1 日開設）

<令和 6 年 3 月 31 日現在の非常勤職員数>
医師 71 名、看護師 17 名、その他 16 名
（令和 5 年 3 月 31 日現在の非常勤職員数 医師 67 名、看護師 19 名、その他 14 名）

<医師の業務軽減>
・医師事務作業補助者 14 名（内科系 3 名、産婦人科 2 名、形成外科・小児科・皮膚科 3 名、泌尿器科 1 名、脳神経外科 1 名、整形外科 1 名、予約センター 1 名、フリー 2 名）
（令和 5 年 3 月 31 日現在の医師事務作業補助者数 13 名）

<看護師、医療スタッフ等の確保対策>
・院内保育所の設置 利用スタッフ数 45 名（令和 4 年度 35 名）
・看護実習生の受入 622 名（令和 4 年度 985 名）
・時短勤務 13 名（令和 4 年度 9 名）
・産休・育休利用 29 名（令和 4 年度 17 名）
・看護師の研修プログラム、奨学金制度
・コロナ対応スタッフへの特別手当の支給
・入職時研修、新人研修

○発熱外来の増加に伴い、必要に応じて看護師を増員配置するなど迅速なコロナ対応ができた。

○脳神経外科及び整形外科常勤医師の確保により、これまで転送を余儀なくされていた疾患にも対応できる体制が整い、病院機能の充実が図られている。

○医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図り、働きやすい職場環境を整えている。

○院内保育所の運営や時短勤務の適用などライフステージに合わせた働き方を支援するとともに研修プログラムの充実や、奨学金制度などキャリアアップの支援を実施している。また、看護実習生も積極的に受け入れ、新たな人材確保につながるよう努力している。

○令和 5 年度に協力型臨床研修病院の指定を受け、参加に向けた体制づくりを整えている。

課題
入院医療をさらに充実させるため、常勤医師の採用など人員体制の充実を図る必要がある。

令和 6 年度からの働き方改革の適用も視野に、医師事務作業補助者を増員し、コメディカルによるタスクシフトの取組や ICT の活用により、医師の業務軽減を推進する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 5 年度 事業計画		令和 5 年度 事業報告				
患者数		1 日平均患者数			1 日平均患者数			
			入院	外来(※)		入院	外来 (ワクチン 接種者除く)	外来 (ワクチン 接種者含む)
		4月	143.0人	229.0人	4月	117.4人	218.8人	221.2人
		5月	135.0人	237.0人	5月	129.1人	250.6人	255.7人
		6月	139.0人	249.0人	6月	127.5人	275.7人	308.8人
		7月	140.0人	264.0人	7月	146.9人	273.1人	300.7人
		8月	145.0人	260.0人	8月	156.9人	290.8人	304.6人
		9月	145.0人	245.0人	9月	136.4人	268.0人	268.6人
		10月	147.0人	229.0人	10月	146.7人	282.5人	313.8人
		11月	145.0人	234.0人	11月	129.7人	296.0人	323.4人
		12月	150.0人	254.0人	12月	144.0人	284.0人	300.0人
		1月	149.0人	257.0人	1月	165.7人	256.9人	260.4人
		2月	148.0人	246.0人	2月	160.0人	272.1人	275.9人
		3月	149.0人	235.0人	3月	152.6人	252.2人	256.1人
		年間平均	144.6人	245.0人	平均	142.8人	268.4人	282.5人
		(※) 外来は、ワクチン接種者を除く。			○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる整形外科の常勤医師を確保し、救急を含む外来診療体制の維持のため、非常勤医師を確保しました。 また、救急患者を積極的に受け入れ、地域医療機関との病病・病診連携を推進し、さらに、広報活動や対面での医療講演会を実施し、入院、外来患者数の増加を目指しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来や疑似症患者及び陽性患者の入院受入に対応します。また、市と連携し、ワクチン接種を実施します。			
		(市民への周知の取組) ・院内の広報委員会による広報活動の強化 ・ホームページ、LINE 公式アカウント、病院だより等による広報活動の推進 ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む)の推進			※ワクチン接種者数(延べ人数) 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 ： 合計 5,148 人			
		(市民への周知の取組) ・広報委員によるホームページ、LINE 公式アカウント等のチェック、随時更新の実施 LINE 公式アカウント登録者数 1,753 人(令和 6 年 3 月 31 日現在) 〈LINE 公式アカウントの掲載例〉 ・医療講演のお知らせ ・イベントのお知らせ			○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる整形外科の常勤医師を確保し、救急を含む外来診療体制の維持のため、非常勤医師を確保しました。 また、救急患者を積極的に受け入れ、地域医療機関との病病・病診連携を推進し、さらに、広報活動や対面での医療講演会を実施し、入院、外来患者数の増加を目指しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来や疑似症患者及び陽性患者の入院受入体制を継続し、市民へのワクチン接種を行いました。			
		・病院だより発刊 毎月 600 部発刊			・医療講演会 35 講座 参加者 611 名 (内、生駒市医師会や自治会等各種団体への出張講座 2 講座 参加者 46 名含む) ・どこでも講座・出前授業(3 講座 参加者 275 名)			
		(地域医療機関への周知の取組) ・地域医療連携室による地域の医療機関への積極的な情報提供を推進します。			(地域医療機関への周知の取組) ・地域医療機関への情報提供等訪問回数 901 件、232 施設 (令和 4 年度 1,465 件、254 施設)			

令和 5 年度 事業報告の補足説明							3 ヶ年の評価・課題	
＜入院＞							(注 1)	
	R5		R4		増減			
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均		
内科	9,720	26.6	9,473	26.0	247	0.6		
消化器内科	1,760	4.8	2,757	7.6	△ 997	△ 2.8		
循環器内科	6,960	19.0	6,072	16.6	888	2.4		
外科	18,227	49.8	17,353	47.5	874	2.3		
内)コロナ陽性者除く	15,017	41.0	13,764	37.7	1,253	3.3		
脳神経外科	1,456	4.0	1,120	3.1	336	0.9		
整形外科(リウマチ科を含む)	5,070	13.9	0	0.0	5,070	13.9		
形成外科	4,038	11.0	1,978	5.4	2,060	5.6		
小児科	863	2.4	423	1.2	440	1.2		
腎臓泌尿器科	2,031	5.5	2,246	6.2	△ 215	△ 0.7		
産婦人科	2,123	5.8	2,144	5.9	△ 21	△ 0.1		
血管外科	24	0.1	41	0.1	△ 17	0.0		
計	52,272	142.8	43,607	119.5	8,665	23.3		
内)コロナ陽性者除く	49,062	134.0	40,018	109.6	9,044	24.4		
＜外来＞							(注 1)	
	R5		R4		増減			
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均		
内科	31,681	86.6	29,073	79.7	2,608	6.9		
内)ワクチン接種者除く	27,041	73.9	26,545	72.7	496	1.2		
消化器内科	2,037	5.6	2,077	5.7	△ 40	△ 0.1		
循環器内科	5,809	15.9	5,754	15.8	55	0.1		
外科	9,237	25.2	8,831	24.2	406	1.0		
内)ワクチン接種者除く	9,237	25.2	8,760	24.0	477	1.2		
脳神経外科	1,720	4.7	1,561	4.3	159	0.4		
内)ワクチン接種者除く	1,720	4.7	1,495	4.1	225	0.6		
整形外科(リウマチ科を含む)	9,265	25.3	6,698	18.4	2,567	6.9		
形成外科	4,335	11.8	5,337	14.6	△ 1,002	△ 2.8		
小児科	5,934	16.2	15,677	43.0	△ 9,743	△ 26.8		
内)ワクチン接種者除く	5,426	14.8	8,109	22.2	△ 2,683	△ 7.4		
腎臓泌尿器科	7,384	20.2	7,108	19.5	276	0.7		
産婦人科	8,547	23.4	7,772	21.3	775	2.1		
内)ワクチン接種者除く	8,547	23.4	6,170	16.9	2,377	6.5		
放射線科	463	1.3	546	1.5	△ 83	△ 0.2		
麻酔科	275	0.8	321	0.9	△ 46	△ 0.1		
血管外科	188	0.5	209	0.6	△ 21	△ 0.1		
皮膚科	6,874	18.8	6,168	16.9	706	1.9		
透析	4,070	11.1	3,929	10.8	141	0.3		
健診科・ドック	5,573	15.2	5,216	14.3	357	0.9		
計	103,392	282.5	106,277	291.2	△ 2,885	△ 8.7		
内)ワクチン接種者除く	98,244	268.4	94,442	258.7	3,802	9.7		
・ 令和 5 年度受入患者数 疑似症患者数 19 人 (令和 4 年度 65 人) 陽性患者数 3,210 人 (令和 4 年度 3,589 人) ・ 令和 5 年度検査件数 PCR 検査数 1,313 件 (令和 4 年度 7,011 件) 抗原検査数 11,116 件 (令和 4 年度 10,497 件)								
(注 1) 〈入院〉〈外来〉表中の患者数の 1 日平均については、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、計と内訳の計が一致しない場合があります。								

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告																														
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。	安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。 DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図ります。また、医療体制をさらに高度なものとするため、第三者に評価してもらう病院機能評価を受審します。 引き続き、高齢者の医療需要にも対応するため、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組むと共に、広く PR していきます。 患者アンケートやご意見箱の内容を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。 ○医療サービスについて <table><tr><td>・手術件数（全体）</td><td>1,270 件</td></tr><tr><td> 外科</td><td>350 件</td></tr><tr><td> 整形外科</td><td>100 件</td></tr><tr><td> 形成外科</td><td>500 件</td></tr><tr><td> 腎臓泌尿器科</td><td>150 件</td></tr><tr><td> 産婦人科</td><td>150 件</td></tr><tr><td> 血管外科</td><td>20 件</td></tr></table> ・分娩件数 250 件 ・母親教室はニーズに対応し、自由な時間に視聴できる YouTube で継続して開催します。 ・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。 ・市の産後ケア事業への参加を継続し、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援します。 ・奈良県総合医療センターの連携施設として、非侵襲性出生前遺伝学的検査（NIPT）を行います。 ・産婦人科と小児科が連携することで、新生児、乳幼児に係る母子医療体制を整備・充実します。 ・医療機器等の整備 必要性、採算性などを検討の上、医療機器の整備を行います。 （導入予定機器） ・電子カルテサーバ更新 ・PACS（医療用画像管理システム）サーバ更新 ・動画サーバ更新 ・心電図ファイリング更新	・手術件数（全体）	1,270 件	外科	350 件	整形外科	100 件	形成外科	500 件	腎臓泌尿器科	150 件	産婦人科	150 件	血管外科	20 件	安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。 DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図りました。 腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術、ダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 また、公益財団法人 日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定を令和 6 年 2 月 9 日付で取得しました。 患者の意見を可能な限り尊重したうえで、患者の思いに寄り添った医療サービスの提供を目指しました。 ○医療サービスについて <table><tr><td>・手術件数（全体）</td><td>1,217 件</td></tr><tr><td> 外科</td><td>322 件</td></tr><tr><td> 整形外科</td><td>194 件</td></tr><tr><td> 形成外科</td><td>396 件</td></tr><tr><td> 腎臓泌尿器科</td><td>116 件</td></tr><tr><td> 産婦人科</td><td>168 件</td></tr><tr><td> 放射線科</td><td>3 件</td></tr><tr><td> 血管外科</td><td>18 件</td></tr></table> ・分娩件数 246 件 ・母親教室開催 院内健診を受けている妊婦を対象に新生児ケアについて YouTube 配信 ・産科交流会 12/17 実施 参加者 38 組 107 名 ・市の産後ケア事業へ参加しました。 サポート人数 2 名 （院内において出産直後にショートステイを利用） ・奈良県総合医療センターの連携施設として、非侵襲性出生前遺伝学的検査（NIPT）を行いました。 ・産婦人科と小児科が連携し、新生児、乳幼児に係る母子医療体制を整備・充実しました。 ・医療機器等の整備 ペインクリニック外来用機器の整備・産婦人科超音波診断装置の更新 （導入機器） ・焼灼術用電気手術ユニット TLG-11 ・超音波診断装置 VolusonP8 ・X線骨密度測定装置 Horizon C 型 ・喉頭ファイバースコープ LF-DP ・内視鏡用ビデオカメラスコープキューブ SC2018 ・スタンド式无影灯 PRIMA-FIX	・手術件数（全体）	1,217 件	外科	322 件	整形外科	194 件	形成外科	396 件	腎臓泌尿器科	116 件	産婦人科	168 件	放射線科	3 件	血管外科	18 件
・手術件数（全体）	1,270 件																															
外科	350 件																															
整形外科	100 件																															
形成外科	500 件																															
腎臓泌尿器科	150 件																															
産婦人科	150 件																															
血管外科	20 件																															
・手術件数（全体）	1,217 件																															
外科	322 件																															
整形外科	194 件																															
形成外科	396 件																															
腎臓泌尿器科	116 件																															
産婦人科	168 件																															
放射線科	3 件																															
血管外科	18 件																															

令和 5 年度 事業報告の補足説明				3 ヶ年の評価・課題																																								
<科目別手術件数> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>外科</td><td>322</td><td>321</td><td>1</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>194</td><td>29</td><td>165</td></tr><tr><td>形成外科</td><td>396</td><td>445</td><td>△ 49</td></tr><tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>116</td><td>142</td><td>△ 26</td></tr><tr><td>産婦人科</td><td>168</td><td>143</td><td>25</td></tr><tr><td>放射線科</td><td>3</td><td>4</td><td>△ 1</td></tr><tr><td>血管外科</td><td>18</td><td>16</td><td>2</td></tr><tr><td>皮膚科</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,217</td><td>1,100</td><td>117</td></tr></table> ・上記以外の件数 心臓カテーテル：136 件、PCI：94 件、内視鏡的手術：333 件 （令和 4 年度：心臓カテーテル：126 件、PCI：74 件、内視鏡的手術：332 件） ・主な外科手術例 乳腺悪性腫瘍手術、腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術など ・主な形成外科手術例 皮膚・皮下腫瘍摘出術、難治性潰瘍手術など ・主な産婦人科手術例 子宮悪性腫瘍手術、緊急帝王切開術など ・主な腎臓泌尿器科手術例 経尿道的前立腺手術、膀胱悪性腫瘍手術など					R5	R4	増減	外科	322	321	1	整形外科	194	29	165	形成外科	396	445	△ 49	腎臓泌尿器科	116	142	△ 26	産婦人科	168	143	25	放射線科	3	4	△ 1	血管外科	18	16	2	皮膚科	0	0	0	合計	1,217	1,100	117	○患者の病状に応じて、身体的負荷が比較的軽い低侵襲な腹腔鏡下手術を実施している。 ○課題であった整形外科の常勤医を採用し、整形外科の手術件数が増加している。 ○令和 4 年 12 月から奈良県総合医療センターの連携施設として認証され、NIPT(非侵襲性出生前遺伝学的検査)を実施している。 ○平成 30 年 9 月から無痛分娩を実施するなど妊婦のニーズに対応した分娩体制を構築している。 ○令和 6 年 2 月に公益財団法人 日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定を取得している。
	R5	R4	増減																																									
外科	322	321	1																																									
整形外科	194	29	165																																									
形成外科	396	445	△ 49																																									
腎臓泌尿器科	116	142	△ 26																																									
産婦人科	168	143	25																																									
放射線科	3	4	△ 1																																									
血管外科	18	16	2																																									
皮膚科	0	0	0																																									
合計	1,217	1,100	117																																									
<腹腔鏡下手術>（胸腔鏡下手術を含む） <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>件数</td><td>184</td><td>201</td><td>△ 17</td></tr></table> <ダ・ヴィンチ手術> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>件数</td><td>4</td><td>9</td><td>△ 5</td></tr></table> ※対応症例は、前立腺がん					R5	R4	増減	件数	184	201	△ 17		R5	R4	増減	件数	4	9	△ 5	課題 様々な手術において患者の身体的負担が少ない低侵襲手術の実績を有する点や保有する高度な医療機器を広く PR し、他病院との連携を強化していく必要がある。 西和医療圏内において、産科医療機関が10施設(平成 30 年度)から 6 施設(令和 5 年度)にまで減少している状況を踏まえ、分娩受入体制の更なる充実が必要である。																								
	R5	R4	増減																																									
件数	184	201	△ 17																																									
	R5	R4	増減																																									
件数	4	9	△ 5																																									
<分娩件数> <table><tr><th colspan="2"></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td rowspan="3">県内</td><td>市内</td><td>117</td><td>132</td><td>△ 15</td></tr><tr><td>市外</td><td>66</td><td>55</td><td>11</td></tr><tr><td>計</td><td>183</td><td>187</td><td>△ 4</td></tr><tr><td colspan="2">県外</td><td>63</td><td>77</td><td>△ 14</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>246</td><td>264</td><td>△ 18</td></tr></table> <助産制度の実績> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>件数</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td></tr></table> ※市立病院は、児童福祉法第 36 条に規定する助産施設 ・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っています。(件数：11 件) <DPC 病院> 平成 30 年 4 月に DPC 準備病院の届出をし、令和 2 年 4 月から DPC 対象病院となりました。 <ジェネリック医薬品> 使用率：79.34%（グループ全体使用率：84.30%）						R5	R4	増減	県内	市内	117	132	△ 15	市外	66	55	11	計	183	187	△ 4	県外		63	77	△ 14	合計		246	264	△ 18		R5	R4	増減	件数	2	2	0					
		R5	R4	増減																																								
県内	市内	117	132	△ 15																																								
	市外	66	55	11																																								
	計	183	187	△ 4																																								
県外		63	77	△ 14																																								
合計		246	264	△ 18																																								
	R5	R4	増減																																									
件数	2	2	0																																									

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告
	主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。 脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。 急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制の充実を図ります。 糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実を図ります。 ○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査の実施（グループ全体：年 1 回） ・退院時患者アンケート調査の実施 ・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査結果やご意見箱の意見及び対応について、ホームページ等で公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。 ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 新人職員を対象とした接遇研修をはじめ、院内スタッフ対象の接遇研修を充実します。 ・院内における接遇委員会を定期的開催し、接遇の向上を図ります。 ・事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施します。	○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと、手術療法、化学療法、放射線療法など患者の状態に応じた適切ながん治療体制、精密検査体制及び病理診断体制を確保しています。 脳卒中 脳血栓溶解療法などの内科的処置を実施するとともに、外科的処置については阪奈中央病院・近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保しました。また、脳血管疾患等の処置後の早期リハビリについても実施しています。 急性心筋梗塞 緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制を確保し、奈良県総合医療センターと連携のもと、患者の状態に応じた適切な医療を提供しました。 糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施しています。 ○患者満足度の向上について ・グループ全体で、令和 5 年度入院・外来患者アンケート調査を 10 月～12 月に実施 ・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 635 件） ・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。 令和 5 年度ご意見箱意見総数 入院 25 件、外来 16 件 合計 41 件 ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/4 新入職員向け接遇研修 朝礼において、職員対象に接遇向上の周知 ・院内における接遇委員会を月 1 回開催（月 1 回身だしなみチェックなどを実施） ・新規入職者の事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施

令和 5 年度 事業報告の補足説明	3 ヶ年の評価・課題												
○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 <がん> ・手術件数：令和 5 年度 113 件（令和 4 年度 124 件） ・がん患者の治療により生じる合併症や機能障害に対する早期回復等を図る取組として、医師、看護師、リハビリスタッフ（3 名）によるがんリハビリテーションを実施しています。 がん登録件数：令和 5 年度 223 件(令和 4 年度 203 件) ・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 31 件、奈良県総合医療センター 18 件 (令和 4 年度：近畿大学奈良病院 21 件、奈良県総合医療センター 18 件) <脳卒中> ・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 3 件、奈良県総合医療センター 5 件、阪奈中央病院 13 件、市立奈良病院 5 件、野崎徳洲会病院 4 件、石切生喜病院 8 件 (令和 4 年度：近畿大学奈良病院 2 件、奈良県総合医療センター 4 件、市立奈良病院 3 件、野崎徳洲会病院 7 件、石切生喜病院 15 件) <急性心筋梗塞> ・心臓カテーテル検査 136 件、PCI 94 件 (令和 4 年度：心臓カテーテル検査 126 件、PCI 74 件) <入院・外来アンケート調査> 患者満足度（総合評価の評点） <table><tr><td></td><td>入院</td><td>外来</td></tr><tr><td>今回</td><td>90.8</td><td>89.7</td></tr><tr><td>前回</td><td>91.9</td><td>89.5</td></tr><tr><td>G P 全体</td><td>85.2</td><td>85.7</td></tr></table> (主なアンケート分析結果) ・患者満足度が高く、総合評価への影響が大きい項目 医師及び看護師の対応で、患者の不安や要望への傾聴や患者が理解できるような説明など患者への配慮 ・患者満足度が低く、総合評価への影響が大きい項目 売店に関する満足度やソーシャルワーカーに関する満足度 (アンケート調査結果は、生駒市立病院ホームページ参照) <退院時アンケート・ご意見箱の主な内容> ・入院退院に関して本人の希望をよく聞き入れて下さり、医師、看護師共に優れたケア・サービスを提供して下さいました。 ・相部屋利用の場合、他の患者への対応や職員の方同士の会話を周りの者が聞いていることを認識して欲しいです。 ・主治医の先生をはじめ、手厚い看護や介護のお世話をいただきました職員の皆様にお礼を申し上げます。明るく清潔な病院と光が溢れる中庭や屋上庭園には心が癒されました。 (対応：病院スタッフの対応に対するご意見や激励について該部署にフィードバックを行っている。) ・雨の日の傘立ての場所がなく、診察時も持ち歩くことになります。早急に設置してください。 (対応：病院玄関に設置しました。)		入院	外来	今回	90.8	89.7	前回	91.9	89.5	G P 全体	85.2	85.7	○がん治療については、地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）との連携により行われている。 ○脳卒中については、近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター、阪奈中央病院、市立奈良病院等との連携により、早期に治療できる体制が構築されている。 ○スタッフ間の連携を強化するため、他部署研修を実施し職員の能力向上に努めている。
	入院	外来											
今回	90.8	89.7											
前回	91.9	89.5											
G P 全体	85.2	85.7											

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告
医療における安全管理に対する取組 ●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。 ●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。 ●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。	（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。 また、医療安全に関する情報公開の方法等については、市立病院管理運営協議会で報告するなど、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。 ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全勉強会（年 2 回開催） （医療事故に対する対応について） 医療事故発生時は、引き続き、次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。 ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 （院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組み、感染症のまん延期には、N95 マスクの着用を徹底します。 ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会（年 2 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（年 4 回） ・感染対策用として、マスク・消毒液等の備蓄を計画的に行います。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、院内に専従の感染管理認定看護師を配置するなど、院内における感染管理をより一層徹底し、新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応します。	（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。 さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。 ・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。 ・医療安全勉強会 e-ラーニング 6 月開催 合計 297 名参加 1 月開催 合計 251 名参加 （医療事故に対する対応について） 医療事故発生時に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制整備に努めました。 （院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。 ・院内感染対策委員会、ICT ラウンドについて計画どおり実施しました。 ・感染勉強会 e-ラーニング 6 月開催 合計 284 名参加 1 月開催 合計 275 名参加 ・ICT 合同カンファレンス 6/20、9/12、2/13（ZOOM にて開催） 12/5（県立総合医療センターにて開催） ・感染対策用として、計画的にマスク・消毒液等の備蓄を行いました。 備蓄数（令和 6 年 3 月 31 日現在） マスク 3,120 枚 消毒液 60ml 70 個、250ml 3 個、 1000ml 5 個 等 ・非常勤医師等を含む全職員への院内感染対策を徹底しました。（常時マスク着用の徹底、PCR 検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等個人防護具の装着の徹底）

令和 5 年度 事業報告の補足説明	3 ヶ年の評価・課題
<医療安全勉強会の内容> e-ラーニング 6 月 「患者確認の手順」 1 月 「転倒転落防止の手順」 <感染勉強会の内容> e-ラーニング 6 月 「もうあわてない嘔吐物処理」 1 月 「2023 年度後期院内感染対策研修」 <新型コロナウイルス感染症対策会議> ・県新型コロナウイルス感染症に関する連絡会へ 15 回参加 ・院長等 3 役中心のコロナ対策会議を 15 回開催	○新型コロナウイルス感染症対策として、県の連絡会に参加するとともに計画的なマスク・消毒液等の備蓄を行った。 ○毎月 1 回の医療安全管理委員会、毎週 1 回の医療安全カンファレンスを実施するとともに、e-ラーニングによる医療安全勉強会を実施するなど医療安全管理体制の確保に努めている。 ○非常勤医師も含めた全職員に対し、常時マスク着用の徹底、PCR 検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等個人防護具の装着など院内感染対策が徹底されている。 課題 新型コロナウイルス感染症対応の経験を活かし、今後の新興感染症の流行に備えて、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、院内における感染管理をより一層徹底し、感染拡大による医療機能の低下を防ぐ体制を継続する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。 地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。 また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪時に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。 ●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。 ●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS 又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的実施 (2 年に 1 回程度) ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年 2 回程度)	地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めます。 病診連携懇話会を開催し、地域医療従事者の情報共有、意見交換の場を提供します。 ○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域医療連携室において、引き続き、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携を推進します。 ○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講習会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進します。 ・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会 (NCPR)	地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めました。 ○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図りました。 地域医療連携室において、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携に努めました。 ○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について ・新生児蘇生法講習会 (NCPR) 12/13 実施 参加者 12 名

令和 5 年度 事業報告の補足説明	3 ヶ年の評価・課題																				
＜医療連携登録医＞ 医療連携登録医からの紹介件数：1,155 件（市内 695 件、市外 460 件） （令和 4 年度：1,065 件（市内 659 件、市外 406 件）） ＜協力医療機関連携施設＞ 協力医療機関連携施設からの患者の救急車による搬送件数：55 件 （令和 4 年度：53 件） ＜入退院支援チーム＞ 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。 入退院支援チームの実績 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td>入退院支援加算</td><td>2,603件</td><td>2,077件</td><td>526件</td></tr><tr><td>介護支援連携指導</td><td>190件</td><td>116件</td><td>74件</td></tr><tr><td>退院時共同加算</td><td>46件</td><td>30件</td><td>16件</td></tr><tr><td>退院前・後訪問指導料</td><td>6件</td><td>1件</td><td>5件</td></tr></table>		R5	R4	増減	入退院支援加算	2,603件	2,077件	526件	介護支援連携指導	190件	116件	74件	退院時共同加算	46件	30件	16件	退院前・後訪問指導料	6件	1件	5件	○地域の医療機関との病診・病病連携が進んだ結果、医療連携登録医からの紹介件数が増加している。 ○医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーによる入退院支援チームの推進、入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進が図られている。 課題 今後の高齢者人口の増加に伴う在宅医療等の増加に備え、現地実施している在宅患者等への後方支援の体制を強化していく必要がある。
	R5	R4	増減																		
入退院支援加算	2,603件	2,077件	526件																		
介護支援連携指導	190件	116件	74件																		
退院時共同加算	46件	30件	16件																		
退院前・後訪問指導料	6件	1件	5件																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告
●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放型病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。 ●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等提供を行います。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。	○周辺の他の医療機関との連携について 医師会と地域医療の課題を共有し、顔の見える関係を構築することでスムーズな地域医療連携を推進します。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、引き続き、MRI、CT、内視鏡及びエコーの紹介利用を推進します。 市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する地域医療に関する連絡会等に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。 ・紹介利用件数（年間） MRI 250 件 CT 120 件 内視鏡 30 件 エコー 60 件 医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的に PR します。 （令和 6 年 3 月 31 日） ・医療連携登録医 70 施設 ・協力医療機関連携施設 67 施設 地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。 ・紹介率 35% ・逆紹介率 20% ○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 3 名・事務職員 2 名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。 専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行います。 やまと西和ネットの活用により、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携を強化するとともに、来院患者への同ネット参加を呼び掛けます。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。	○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器の紹介利用を実施しました。 市が開催する市内等医療機関との意見交換会に参加しました。 ・医療機器の紹介利用件数 MRI 296 件（全利用件数 3,094 件） CT 142 件（全利用件数 9,611 件） 内視鏡 30 件（全利用件数 5,554 件） エコー 47 件（全利用件数 2,776 件） 医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを積極的に PR しました。 （令和 6 年 3 月 31 日現在） ・医療連携登録医 67 施設・82 名 ・協力医療機関連携施設 66 施設 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 901 件、232 施設 （令和 4 年度 1,465 件、254 施設） 地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、紹介された患者の受け入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。 ・紹介率 35.2% ・逆紹介率 14.3% ○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進しました。 地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。 やまと西和ネットに参加し、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携に努めました。 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会及び在宅医療介護推進部会に参加しました。

令和 5 年度 事業報告の補足説明	3 ヶ年の評価・課題																																																				
・令和 4 年 3 月 29 日 生駒地区医師会への入会申請を提出 (令和 6 年 3 月 31 日現在、医師会にて審査中) <医療機器の紹介利用> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>MRI</td><td>296</td><td>289</td><td>7</td></tr><tr><td>CT</td><td>142</td><td>130</td><td>12</td></tr><tr><td>内視鏡</td><td>30</td><td>33</td><td>△ 3</td></tr><tr><td>エコー</td><td>47</td><td>60</td><td>△ 13</td></tr></table> <医療連携登録医> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>施設数</td><td>67</td><td>67</td><td>0</td></tr></table> ・ 67 施設の内、市内内科診療所は 29 施設 35 名 ・ 全市内内科診療所（88 施設）の 33.0% <協力医療機関連携施設> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>施設数</td><td>66</td><td>65</td><td>1</td></tr></table> <紹介率・逆紹介率等> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>紹介率</td><td>35.2</td><td>29.0</td><td>6.2</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>14.3</td><td>13.6</td><td>0.7</td></tr><tr><td>地域(市内)医療機関の 市立病院利用率</td><td>89.8</td><td>83.1</td><td>6.7</td></tr></table> ・ 紹介率 (紹介初診患者数+初診救急患者数)÷初診患者数 (3,707+3,163)÷19,500= 35.2% ・ 逆紹介率 逆紹介患者数÷初診患者数 2,798÷19,500= 14.3% (参考:紹介元の医療機関に戻した入院患者数÷紹介による入院患者数) 387÷500 = 77.4% ・ 地域(市内)医療機関の市立病院利用率 市内で紹介を受けた内科医療機関数÷市内内科医療機関数 79÷88= 89.8% <やまと西和ネット> ・ 西和医療圏（生駒市他 1 市 7 町）の医療機関、介護事業所を利用される方の病気、薬などの情報を共有 参考：令和 6 年 3 月 31 日現在 参加施設数 41 施設 <生駒市医療介護連携ネットワーク協議会> 6/15 部会の活動報告等 <在宅医療介護推進部会> 7/26 ・エンディングノート作成について ・生駒市のめざすべき姿と実現までのロードマップについてをテーマにしたグループワーク 等 11/22 ・多職種連携研修会の開催について ・ロードマップ(案)エンディングノート(案)についての協議 等 3/21 ・ロードマップを達成するためのロジックモデルについてをテーマにしたグループワーク 等		R5	R4	増減	MRI	296	289	7	CT	142	130	12	内視鏡	30	33	△ 3	エコー	47	60	△ 13		R5	R4	増減	施設数	67	67	0		R5	R4	増減	施設数	66	65	1		R5	R4	増減	紹介率	35.2	29.0	6.2	逆紹介率	14.3	13.6	0.7	地域(市内)医療機関の 市立病院利用率	89.8	83.1	6.7	○新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも MRI や CT などの医療機器の紹介利用を進めるなど、地域の診療所との地域医療連携の推進に努めた。 ○地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進するとともに専任職員が地域医療機関を訪問することによって、地域医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行うなど地域医療機関との信頼関係構築に努め、紹介率・逆紹介率の増加につながっている。 課題 今後の高齢者人口の増加に伴う在宅医療等の増加に備え、医療連携登録医を増やすなど地域医療機関との関係性の構築に向けた取組を推進する必要がある。
	R5	R4	増減																																																		
MRI	296	289	7																																																		
CT	142	130	12																																																		
内視鏡	30	33	△ 3																																																		
エコー	47	60	△ 13																																																		
	R5	R4	増減																																																		
施設数	67	67	0																																																		
	R5	R4	増減																																																		
施設数	66	65	1																																																		
	R5	R4	増減																																																		
紹介率	35.2	29.0	6.2																																																		
逆紹介率	14.3	13.6	0.7																																																		
地域(市内)医療機関の 市立病院利用率	89.8	83.1	6.7																																																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告																
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。 ●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受け入れをします。 (具体的な体制) <table border="1" data-bbox="108 817 499 1485"> <tr> <th>診療分野</th><th>稼働内容</th><th>稼働回数 (1 月あたり)</th></tr> <tr> <td>内科系</td><td rowspan="2">市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td><td>内科系 5 回</td></tr> <tr> <td>外科系</td><td>外科系 5 回</td></tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td><td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td><td>休日 2 回 夜間 2 回</td></tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td><td>10 回 (※1)</td></tr> <tr> <td>産婦人科 (※2)</td><td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td><td>10 回</td></tr> </table> (※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00~24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。 ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。 (※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。	診療分野	稼働内容	稼働回数 (1 月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回	外科系	外科系 5 回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回 夜間 2 回	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)	産婦人科 (※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回	救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状況に応じた適切な救急医療を実施します。 また、新型コロナウイルス疑似症患者及び陽性患者の救急受入をします。 ○救急医療体制について ・救急受入件数 2,000 件 ・救急応需率 95.0 % ・市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する地域医療に関する連絡会等に参加し、救急医療体制の充実のため病病連携強化を図ります。 ・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。 ・小児科の救急医療や入院医療の体制を充実させ、引き続き、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制に寄与します。 ・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制づくりを進めます。	救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状況に応じた適切な救急医療を実施しました。 また、新型コロナウイルス疑似症患者等の救急受入をしました。 ○救急医療体制について ・救急受入件数 3,163 件 (市内 1,669 件、市外 1,494 件) ・救急応需率 94.1 % ・市が開催する市内等医療機関との意見交換会に参加しました。 ・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たしました。 ・令和 5 年 4 月から、北和小児科二次輪番体制へ月 2 回参加しました。 ・令和 5 年度第 1 回(7/24 開催)・第 2 回(1/30 開催)北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会 に出席 ・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備しています。
診療分野	稼働内容	稼働回数 (1 月あたり)																
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回																
外科系		外科系 5 回																
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回 夜間 2 回																
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)																
産婦人科 (※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回																

令和 5 年度 事業報告の補足説明	3 ヶ年の評価・課題																																																																																																																								
<救急要請件数> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>件数</td><td>3,363</td><td>3,946</td><td>△ 583</td></tr></table> <救急受入件数> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>市内</td><td>1,669</td><td>1,542</td><td>127</td></tr><tr><td>市外</td><td>1,494</td><td>1,607</td><td>△ 113</td></tr><tr><td>計</td><td>3,163</td><td>3,149</td><td>14</td></tr></table> <救急応需率> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>救急受入件数÷救急要請件数</td><td>94.1%</td><td>79.8%</td><td>14.3%</td></tr></table> <ワークイン患者受入件数> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>件数</td><td>4,060</td><td>3,053</td><td>1,007</td></tr><tr><td>月平均</td><td>338.3</td><td>254.4</td><td>83.9</td></tr></table> <救急患者の転送件数> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>受入件数</td><td>3,163</td><td>3,149</td><td>14</td></tr><tr><td>県内転送</td><td>87</td><td>81</td><td>6</td></tr><tr><td>県外転送</td><td>18</td><td>32</td><td>△ 14</td></tr><tr><td>転送計</td><td>105</td><td>113</td><td>△ 8</td></tr></table> <救急患者の転送率> (注 2) <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>県内転送</td><td>2.7%</td><td>2.6%</td><td>0.1%</td></tr><tr><td>県外転送</td><td>0.6%</td><td>1.0%</td><td>△0.4%</td></tr><tr><td>転送計</td><td>3.3%</td><td>3.6%</td><td>△0.3%</td></tr></table> <参考：生駒市消防の救急搬送状況> (注 2) (全時間帯) <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>市内</td><td>68.5%</td><td>67.5%</td><td>1.0%</td></tr><tr><td>市立病院</td><td>31.0%</td><td>29.6%</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>その他病院</td><td>37.5%</td><td>37.8%</td><td>△0.3%</td></tr></table> (当直時間帯) <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>市内</td><td>65.1%</td><td>64.6%</td><td>0.5%</td></tr><tr><td>市立病院</td><td>33.6%</td><td>33.1%</td><td>0.5%</td></tr><tr><td>その他病院</td><td>31.6%</td><td>31.5%</td><td>0.1%</td></tr></table> ※市消防本部提供、速報値 <市内等輪番病院のバックアップ状況> <table><tr><th></th><th>R5</th><th>R4</th><th>増減</th></tr><tr><td>バックアップ率</td><td>46.0%</td><td>37.4%</td><td>8.6%</td></tr></table> 計算式 A÷B A 生駒市立病院が受け入れた件数 B 救急患者を市内等輪番病院が当番日に受け入れできなかった件数 (令和 5 年度：132 件÷287 件、令和 4 年度：126 件÷337 件)		R5	R4	増減	件数	3,363	3,946	△ 583		R5	R4	増減	市内	1,669	1,542	127	市外	1,494	1,607	△ 113	計	3,163	3,149	14		R5	R4	増減	救急受入件数÷救急要請件数	94.1%	79.8%	14.3%		R5	R4	増減	件数	4,060	3,053	1,007	月平均	338.3	254.4	83.9		R5	R4	増減	受入件数	3,163	3,149	14	県内転送	87	81	6	県外転送	18	32	△ 14	転送計	105	113	△ 8		R5	R4	増減	県内転送	2.7%	2.6%	0.1%	県外転送	0.6%	1.0%	△0.4%	転送計	3.3%	3.6%	△0.3%		R5	R4	増減	市内	68.5%	67.5%	1.0%	市立病院	31.0%	29.6%	1.4%	その他病院	37.5%	37.8%	△0.3%		R5	R4	増減	市内	65.1%	64.6%	0.5%	市立病院	33.6%	33.1%	0.5%	その他病院	31.6%	31.5%	0.1%		R5	R4	増減	バックアップ率	46.0%	37.4%	8.6%	○コロナ禍において 24 時間 365 日救急患者の受入体制を整え、奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療体制の充実に努め、新型コロナウイルス感染症患者等の救急受入を実施するなど地域住民が安心できる医療体制を確保した。 ○計画値を大幅に上回る救急受入件数にも関わらず高い救急応需率を達成している。 課題 令和 6 年度から開始される「医師の働き方改革」により、救急医療提供体制の維持が困難になることが予想される中、北和小児科二次輪番体制への参加を継続するとともに、内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加など、公立病院の責務として市内の二次救急医療体制で中心的な役割を果たすことが期待される。 (注 2) 表中の％は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、計と内訳の計が一致しない場合があります。
	R5	R4	増減																																																																																																																						
件数	3,363	3,946	△ 583																																																																																																																						
	R5	R4	増減																																																																																																																						
市内	1,669	1,542	127																																																																																																																						
市外	1,494	1,607	△ 113																																																																																																																						
計	3,163	3,149	14																																																																																																																						
	R5	R4	増減																																																																																																																						
救急受入件数÷救急要請件数	94.1%	79.8%	14.3%																																																																																																																						
	R5	R4	増減																																																																																																																						
件数	4,060	3,053	1,007																																																																																																																						
月平均	338.3	254.4	83.9																																																																																																																						
	R5	R4	増減																																																																																																																						
受入件数	3,163	3,149	14																																																																																																																						
県内転送	87	81	6																																																																																																																						
県外転送	18	32	△ 14																																																																																																																						
転送計	105	113	△ 8																																																																																																																						
	R5	R4	増減																																																																																																																						
県内転送	2.7%	2.6%	0.1%																																																																																																																						
県外転送	0.6%	1.0%	△0.4%																																																																																																																						
転送計	3.3%	3.6%	△0.3%																																																																																																																						
	R5	R4	増減																																																																																																																						
市内	68.5%	67.5%	1.0%																																																																																																																						
市立病院	31.0%	29.6%	1.4%																																																																																																																						
その他病院	37.5%	37.8%	△0.3%																																																																																																																						
	R5	R4	増減																																																																																																																						
市内	65.1%	64.6%	0.5%																																																																																																																						
市立病院	33.6%	33.1%	0.5%																																																																																																																						
その他病院	31.6%	31.5%	0.1%																																																																																																																						
	R5	R4	増減																																																																																																																						
バックアップ率	46.0%	37.4%	8.6%																																																																																																																						

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告																				
●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。 (具体的な体制) <table><tr><td></td><td>人員体制</td></tr><tr><td>通常時</td><td>内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td></tr><tr><td>北和小児科 二次輪番日</td><td>通常時当直体制 ＋小児科医師 1 名の当直</td></tr><tr><td>休日夜間 応急診療所の バックアップ (小児科) 担当日</td><td>通常時当直体制 ＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td></tr><tr><td>北和産婦人科 一次救急 当番日</td><td>通常時当直体制 ＋産婦人科医 1 名の当直</td></tr></table> ●診療科毎の対応レベル <table><tr><td>診療科</td><td>対応レベル</td></tr><tr><td>内科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td></tr><tr><td>外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td></tr><tr><td>小児科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td></tr><tr><td>産婦人科 (二次輪番)</td><td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td></tr></table>		人員体制	通常時	内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科 二次輪番日	通常時当直体制 ＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間 応急診療所の バックアップ (小児科) 担当日	通常時当直体制 ＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科 一次救急 当番日	通常時当直体制 ＋産婦人科医 1 名の当直	診療科	対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。 (夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ・臨床工学技士 オンコール体制 ○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。	○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。 (夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ・臨床工学技士 オンコール体制 ○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。
	人員体制																					
通常時	内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制																					
北和小児科 二次輪番日	通常時当直体制 ＋小児科医師 1 名の当直																					
休日夜間 応急診療所の バックアップ (小児科) 担当日	通常時当直体制 ＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置																					
北和産婦人科 一次救急 当番日	通常時当直体制 ＋産婦人科医 1 名の当直																					
診療科	対応レベル																					
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)																					
外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)																					
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可																					
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)																					

令和 5 年度 事業報告の補足説明	3 ヶ年の評価・課題																																																				
<医師のオンコール体制> 消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、腎臓泌尿器科、産婦人科、小児科 ・脳神経外科については、他病院との連携体制で対応 連携実績 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td>近畿大学奈良病院</td><td>5 件</td><td>4 件</td><td>1 件</td></tr><tr><td>奈良県総合医療センター</td><td>11 件</td><td>5 件</td><td>6 件</td></tr><tr><td>阪奈中央病院</td><td>13 件</td><td>0 件</td><td>13 件</td></tr><tr><td>市立奈良病院</td><td>5 件</td><td>3 件</td><td>2 件</td></tr><tr><td>野崎徳洲会病院</td><td>4 件</td><td>7 件</td><td>△3 件</td></tr><tr><td>石切生喜病院</td><td>10 件</td><td>16 件</td><td>△6 件</td></tr><tr><td>若草第一病院</td><td>0 件</td><td>1 件</td><td>△1 件</td></tr></table> ・当直時間帯での CT、MRI 検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td>CT</td><td>2,400件</td><td>2,195件</td><td>205件</td></tr><tr><td>MRI</td><td>122件</td><td>154件</td><td>△32件</td></tr><tr><td>心臓カテーテル検査</td><td>12件</td><td>7件</td><td>5件</td></tr><tr><td>内視鏡検査</td><td>22件</td><td>15件</td><td>7件</td></tr></table>		R5	R4	増減	近畿大学奈良病院	5 件	4 件	1 件	奈良県総合医療センター	11 件	5 件	6 件	阪奈中央病院	13 件	0 件	13 件	市立奈良病院	5 件	3 件	2 件	野崎徳洲会病院	4 件	7 件	△3 件	石切生喜病院	10 件	16 件	△6 件	若草第一病院	0 件	1 件	△1 件		R5	R4	増減	CT	2,400件	2,195件	205件	MRI	122件	154件	△32件	心臓カテーテル検査	12件	7件	5件	内視鏡検査	22件	15件	7件	○新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備し、救急受入体制を維持した。 ○休日・夜間について、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制に加え、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持している。 課題 外傷患者等への救急受入が可能な体制の整備に向け、さらに整形外科、脳神経外科の常勤医師を確保し救急受入体制を充実させる必要がある。
	R5	R4	増減																																																		
近畿大学奈良病院	5 件	4 件	1 件																																																		
奈良県総合医療センター	11 件	5 件	6 件																																																		
阪奈中央病院	13 件	0 件	13 件																																																		
市立奈良病院	5 件	3 件	2 件																																																		
野崎徳洲会病院	4 件	7 件	△3 件																																																		
石切生喜病院	10 件	16 件	△6 件																																																		
若草第一病院	0 件	1 件	△1 件																																																		
	R5	R4	増減																																																		
CT	2,400件	2,195件	205件																																																		
MRI	122件	154件	△32件																																																		
心臓カテーテル検査	12件	7件	5件																																																		
内視鏡検査	22件	15件	7件																																																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。	小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の充実を図ります。 ○小児医療体制について 小児科の救急医療や入院医療の体制を充実させ、引き続き、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制に寄与します。	小児の入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。 ○小児医療体制について 令和 5 年 4 月から、北和小児科二次輪番体制へ月 2 回参加しました。
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。	大規模災害時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。 生駒市災害対策本部及び生駒市医師会災害対策本部と緊密な連携協力体制の下、市内 4 病院とともに後方支援病院として災害時医療を担います。 ○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや、地域住民も参加する実地訓練を行います。 ・消防訓練（通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練） ・防災訓練（トリアージ・患者受入訓練・机上訓練） 市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する地域医療に関する連絡会等に参加し、病病連携強化を図ります。	大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制整備に引き続き努めました。 ○災害時医療体制の確立について ・消防訓練 4/28 実施 参加者 43 名 1/26 実施 参加者 35 名 （通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練） ・防災訓練 10/28 実施 参加者 職員 52 名、市民 19 名
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。 ●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。（講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。） また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。	さらなる市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。 ○疾病予防機能の強化について 市民の健康づくりや疾病予防を促進するため、院内講演の充実に加え、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 市民の幅広い年代層が健診を受けやすくするよう努めます。 乳幼児への定期予防接種を引き続き実施します。 ・市民健診 大腸がん検診 220 件 胃がん(胃内視鏡)検診 70 件 乳がん検診 270 件 子宮頸がん検診 290 件 肝炎ウイルス検診 25 件 特定健診 900 件 一般健診 1,500 件 人間ドック・脳ドック 1,800 件 その他団体健診等 2,100 件 ・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 700 件 肺炎球菌 70 件 ・小児定期予防接種 600 件	市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。 ○疾病予防機能の強化について 市民との交流、健康づくりを推進するため、医療講演会を定期的に開催しました。 ・医療講演会 35 講座 参加者 611 名 （内、生駒市医師会や自治会等各種団体への出張講座 2 講座 参加者 46 名含む） ・どこでも講座・出前授業（3 講座 参加者 275 名） ・市民健診 大腸がん検診 229 件 胃がん(胃内視鏡)検診 72 件 乳がん検診 311 件 子宮頸がん検診 284 件 肝炎ウイルス検診 15 件 特定健診 1,119 件 一般健診 1,612 件 生活保護者等の健康診査 13 件 人間ドック・脳ドック 2,404 件 その他団体健診等 1,896 件 ・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 635 件 肺炎球菌 75 件 ・小児定期予防接種 760 件

令和 5 年度 事業報告の補足説明					3 ヶ年の評価・課題																																																																																					
<令和 5 年度小児科二次輪番体制当番日の患者数> <table><tr><td></td><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td rowspan="3">入院</td><td>救急車</td><td>25</td><td>7</td><td>18</td></tr><tr><td>その他</td><td>25</td><td>2</td><td>23</td></tr><tr><td>計</td><td>50</td><td>9</td><td>41</td></tr><tr><td rowspan="3">外来</td><td>救急車</td><td>65</td><td>30</td><td>35</td></tr><tr><td>その他</td><td>85</td><td>41</td><td>44</td></tr><tr><td>計</td><td>150</td><td>71</td><td>79</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>200</td><td>80</td><td>120</td></tr></table>							R5	R4	増減	入院	救急車	25	7	18	その他	25	2	23	計	50	9	41	外来	救急車	65	30	35	その他	85	41	44	計	150	71	79	合計		200	80	120	○小児の救急対応、入院患者の受け入れ等更なる小児二次医療体制の充実に努めている。 ○産科での出生児の診療や 1 か月健診は小児科医が担当し、胎児へのリスクの高い分娩には小児科医が参加するなど安心して出産できる体制を整えている。 課題 北和小児科二次輪番体制の当番回数の増加に加え、医療的ケア児の大規模災害時等の一時受け入れなど地域の小児救急医療に対して、さらに貢献する必要がある。																																																	
		R5	R4	増減																																																																																						
入院	救急車	25	7	18																																																																																						
	その他	25	2	23																																																																																						
	計	50	9	41																																																																																						
外来	救急車	65	30	35																																																																																						
	その他	85	41	44																																																																																						
	計	150	71	79																																																																																						
合計		200	80	120																																																																																						
					○大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制が整備されている。 ○有事に備えて、防災訓練を実施している。																																																																																					
<医療講演会（出張講座含む）> <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td>件数</td><td>35</td><td>44</td><td>△ 9</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>611</td><td>574</td><td>37</td></tr></table> ※健康フェスティバルの医療講演会参加者数は、実数の確認が難しいため、1 件 20 名としています。 <医療講演会の内容例> ・在宅医療ってなあに？ ・糖尿病の運動療法 ～効果的な運動のコツ～ <市民健診> <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>229</td><td>220</td><td>9</td></tr><tr><td>胃がん（胃内視鏡）検診</td><td>72</td><td>62</td><td>10</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>311</td><td>278</td><td>33</td></tr><tr><td>子宮頸がん検診</td><td>284</td><td>259</td><td>25</td></tr><tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>15</td><td>17</td><td>△ 2</td></tr><tr><td>特定健診※1</td><td>1,119</td><td>1,047</td><td>72</td></tr><tr><td>一般健診</td><td>1,612</td><td>1,730</td><td>△ 118</td></tr><tr><td>生活保護者等の健康診査※2</td><td>13</td><td>10</td><td>3</td></tr><tr><td>人間ドック・脳ドック</td><td>2,404</td><td>2,008</td><td>396</td></tr><tr><td>その他団体健診等</td><td>1,896</td><td>1,870</td><td>26</td></tr><tr><td>合計</td><td>7,955</td><td>7,501</td><td>454</td></tr></table> ※1 生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。 ※2 健康増進法施行規則第 4 条の 2 第 4 号に定める健康診査 <高齢者定期予防接種> <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td>インフルエンザ</td><td>635</td><td>697</td><td>△ 62</td></tr><tr><td>肺炎球菌</td><td>75</td><td>59</td><td>16</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>R5</td><td>R4</td><td>増減</td></tr><tr><td><小児定期予防接種></td><td>760</td><td>703</td><td>57</td></tr></table>						R5	R4	増減	件数	35	44	△ 9	参加者数	611	574	37		R5	R4	増減	大腸がん検診	229	220	9	胃がん（胃内視鏡）検診	72	62	10	乳がん検診	311	278	33	子宮頸がん検診	284	259	25	肝炎ウイルス検診	15	17	△ 2	特定健診※1	1,119	1,047	72	一般健診	1,612	1,730	△ 118	生活保護者等の健康診査※2	13	10	3	人間ドック・脳ドック	2,404	2,008	396	その他団体健診等	1,896	1,870	26	合計	7,955	7,501	454		R5	R4	増減	インフルエンザ	635	697	△ 62	肺炎球菌	75	59	16						R5	R4	増減	<小児定期予防接種>	760	703	57	○令和 4 年 4 月から小児定期予防接種の指定医療機関となっている。 ○多種多様な内容の医療講演会を開催するとともに自治会などへの出張講座を開催するなど、コロナ禍においても感染状況を見ながら積極的に市民の健康づくりや疾病予防の啓発に取り組んでいる。 ○健診体制の充実により、市民健診の受診者数が増加している。	
	R5	R4	増減																																																																																							
件数	35	44	△ 9																																																																																							
参加者数	611	574	37																																																																																							
	R5	R4	増減																																																																																							
大腸がん検診	229	220	9																																																																																							
胃がん（胃内視鏡）検診	72	62	10																																																																																							
乳がん検診	311	278	33																																																																																							
子宮頸がん検診	284	259	25																																																																																							
肝炎ウイルス検診	15	17	△ 2																																																																																							
特定健診※1	1,119	1,047	72																																																																																							
一般健診	1,612	1,730	△ 118																																																																																							
生活保護者等の健康診査※2	13	10	3																																																																																							
人間ドック・脳ドック	2,404	2,008	396																																																																																							
その他団体健診等	1,896	1,870	26																																																																																							
合計	7,955	7,501	454																																																																																							
	R5	R4	増減																																																																																							
インフルエンザ	635	697	△ 62																																																																																							
肺炎球菌	75	59	16																																																																																							
	R5	R4	増減																																																																																							
<小児定期予防接種>	760	703	57																																																																																							

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 5 年度 事業計画	令和 5 年度 事業報告
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。	市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。 ○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及び対応について、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告等、広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査(中間報告を含む)について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。 ・病院事業推進委員会 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査 ・ご意見箱の内容に対する対応 ○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、市民交流事業を開催します。 (主な市民交流事業) ・健康フェスティバル(11 月頃開催予定) ・院内コンサート	市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。 ○市民の意見の反映の仕組み グループ全体で実施した令和 4 年度入院・外来患者アンケート調査の結果について、令和 5 年 5 月のホームページ更新に合わせて公表しました。 さらに、ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査については、市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、次年度の事業計画に反映させる予定です。 ・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。 ○市民交流事業について <健康フェスティバル> 11 月 12 日(日)開催 <院内コンサート> 12 月 9 日(土) クリスマスコンサート開催
1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構)14000 シリーズの認証取得を目指す。	引き続き、市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。 ・ミックスペーパー等資源ごみの分別回収を強化します。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。	引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。 ・ミックスペーパー等資源ごみの分別回収を強化しました。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。

令和 5 年度 事業報告の補足説明	3 ヶ年の評価・課題
<生駒市病院事業推進委員会> 12/2 第 29 回会議 ・公立病院経営強化プラン(案)について 2/10 第 30 回会議 ・公立病院経営強化プラン(案)について 3/23 第 31 回会議 ・令和 6 年度生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書(案)について <生駒市立病院管理運営協議会> 8/29 第 1 回会議 ・令和 4 年度実施状況調査報告書(案)について 11/28 第 2 回会議 ・令和 5 年度中間報告書(案)について 3/16 第 3 回会議 ・令和 6 年度事業計画書について	○グループ全体で実施した入院・外来患者アンケートについて、その内容及び対応をホームページで公開するなど開かれた病院運営を行っている。 ○病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会において、市民等に情報を提供し、意見を聴取し、その意見を事業計画に反映させることで、市民参加による病院運営が可能となっている。
	○市組織と同等の取組が実施されている。

収支

(単位 千円)

	令和5年度事業計画 (令和6年3月末)	令和5年度事業報告	差額
医業収入	4,689,580	5,120,804	431,224
医業費用	4,373,963	4,658,582	284,619
医業利益	315,617	462,222	146,605
その他費用	265,366	0	△ 265,366
医業外収益	0	3,379	3,379
医業外費用	0	2,445	2,445
経常利益	50,251	463,156	412,905